



THE
WAKASA
WAN
ENERGY
RESEARCH
CENTER

エネルギー研究開発拠点化計画 着実に進展中

原子力保修業務従事者の技能レベルの強化を目的とした

福井県独自の「原子力保修技術技量認定」

3つの認定区分で認定試験を実施し、合計75名を認定

今年1月に引き続き、平成21年度第1回「福井県原子力保修技術技量認定講習・試験」を9月7日から9月16日の間に、当センター(敦賀市)と関西電力原子力研修センター(高浜町)において開催しました。全体で93名の受験者が、日頃の業務で培った技量を発揮しながら試験に臨み、認定された75名の方に対して、後日、認定証とヘルメットに貼るシールを授与しました。

【制度の概要】 **第2回の受験要領はホームページ掲載中**

- 技能対象範囲:** 原子力発電所の下記認定区分に関する一般的な技能
- 認定区分:** あと施工アンカー作業、配管締付継手作業、電線結線・端末処理
- 受験資格:** 各認定区分に関して原子力発電所の保修業務又はこれと同様な現場作業経験を3年以上有している方
- 認定方法:** 講習(講義、実技)、試験(筆記、実技)
- 認定機関:** 福井県原子力保修技術技量認定協議会
- 受験料:** 無料
- 資格の有効期限:** 3年。更新は再度受験が必要。



あと施工アンカー作業



配管締付継手作業

エネルギー研究開発拠点化計画のおもな進展

- 電子線照射施設 起工式(2009/9/18)
- レーザー共同研究所 開所(2009/9/29)
- 原子力安全技術研修施設 計画最終案承認(2009/9/17)



福井県開催 2010年APECエネルギー大臣会合

日程: 2010年6月19日(土)・20日(日)

Welcome to FUKUI

ようこそ福井県へ



講演「アジア太平洋経済の新たな展開」～APECの役割～

21年10月9日(金) 福井県国際交流会館

来年福井県で開催される「2010年日本APECエネルギー大臣会合」に向けた取り組みとして、前回2008年APEC事務局長を務めたカプニヤイ氏によるAPECの役割や国際交流に関して講演が行われました。

カプニヤイ氏は、大臣会合の場はメディアや産業界の注目の的になるので、福井のおもてなしと発信で、このチャンスを活かして発展につなげて欲しいと指摘した。

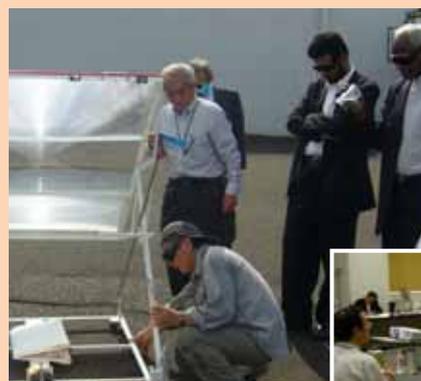


講師
ファン・カルロス・カプニヤイ氏
ペルー共和国
駐日特命全権大使

高校生が英語でペルーの環境・新エネルギーや相互の国際交流展開などを質問。カプニヤイ氏から、スポーツ・文化交流や、大臣会合期間の英語通訳ボランティアなどの期待が述べられた。

サウジアラビアからの太陽炉視察

新エネルギー開発に強い関心を持つサウジアラビア大使館や日本アラブ協会関係者が、9月3日にエネ研の研究施設(大型太陽炉とBACH)を視察訪問しました。



アラビア半島等での年間日照時間3,600時間以上、3月から10月の晴天率90%以上の太陽光利用を前提に、発電や冷熱などを対象に優れた施設の導入を検討しているとのことでした。



エネ研の新型ヒートパイプ技術の利用事例

エネ研で発明し開発中の新型ヒートパイプ BACH(Bubble Actuated Circulating Heat-pipe)は次第に大型化を図り、文部科学省の産学官連携促進事業での実証展開を行っています。今回は若狭町内で、製塩工場に導入を図っている事例を紹介いたします。

「製塩工房」(若狭町大鳥羽) 工場内の様子



若狭の塩のステイタス！！

みけつくに
古代、若狭は御食国として朝廷に海水産物を届けた国で、税の1つである調は一般の絹や麻ではなく塩で納めたとのこと。
沿岸一帯には大規模な製塩施設の遺跡が多くあり、若狭湾の海水でおいしい塩の製造販売を目指しているのが「製塩工房(社会福祉法人コミュニティネットワークふくい)」です。



写真は小浜市の岡津製塩遺跡(おこづせい えんいせき)。古墳時代後期から奈良時代の製塩遺跡で国の史跡に指定。



海水を煮詰めている



できた塩

製塩工房のヒートパイプの概要

左の写真に見える4本のヒートパイプは、高さが約4m、太さが約4cmあり、内部で発生する気泡が上昇する力で内部の液体(湯)が循環します。この工場では燃料の焼却で生じる熱のロスをこのヒートパイプでうまく取り出し、屋根付近に設置した皿状の場所で海水の蒸発に使うように設計を行いました。

原子力産業への参入を目指す県内企業のための 「株式会社東芝との情報交換会」参加のご案内

申し込み用紙などの詳細はホームページに掲載中

参加企業の募集

- 【募集期間】平成21年10月13日(火)～11月6日(金)
- 【参加資格】原子力産業へ製造業として参入を目指す福井県内企業
- 東芝と企業との情報交換会 (参加無料)
- 【開催日】平成21年12月2日(水)
- 【開催場所】福井県若狭湾エネルギー研究センター

科学機器利用研修

次の研修はまだ若干名の余裕がありますので、ご希望・ご質問は、中尾または黒瀬まで。TEL 直通 0770-24-7273
・電子スピン共鳴装置(略称 ESR)12月2日～3日、場所:エネ研

スリランカからの研修生です

昨年のベトナムからのレさんに続いて、本年はスリランカ米研究開発研究所のPriyanthi(プリヤンティ)さんが文部科学省の原子力研究交流制度で、エネ研の研修生として来年6月まで滞在し、放射線の農業利用(品種改良)を研究します。プリヤンティさんについては今後紹介します。



職員交代

前任

後任

エネルギー研究開発
拠点化推進組織
産学官連携チーム
チーフマネージャー



松丸 隆



中川 祐司(昇任)

新任

エネルギー研究開発
拠点化推進組織
産学官連携チーム
マネージャー



篠田 佳彦

松丸、篠田ともに原子力機構からの出向で、松丸は敦賀地区本部に戻ります。

